

学術講演会プログラム

特別企画

特別講演

10月3日(木) 14:10～15:10 第1会場

イノベーションが未来を拓く～カーボンニュートラル実現に向けて～

司会：大森 孝一（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会理事長，京都大学）

演者：内山田竹志（トヨタ自動車株式会社）

演者略歴

トヨタ自動車株式会社Executive Fellow

1946年生まれ愛知県出身。名古屋大学工学部卒。

1969年トヨタ自動車工業株式会社（現：トヨタ自動車株式会社）入社。

1994年第2開発センター第2企画部主査（初代「プリウス」開発責任者）となり、1997年に世界初の量産ハイブリッド自動車を世に送る。

1998年取締役、2001年常務取締役、2003年専務取締役、2005年取締役副社長、2012年取締役副会長を経て、2013年から取締役会長。

2023年取締役会長を退任し現職。

会長在任中、経済産業省計量行政審議会会長、総務省情報通信審議会会長、内閣府総合科学技術・イノベーション会議有識者議員、一般社団法人日本経済団体連合会副会長などを歴任。



大森 孝一



内山田竹志

国内招待講演

10月4日(金) 13:40～14:40 第1会場

IL1. メニエール病の画像診断；小さな宇宙を究める

司会：欠畑 誠治（太田総合病院）

演者：長縄 慎二（名古屋大学）



欠畑 誠治



長縄 慎二

演者略歴

昭和37年 名古屋市生まれ。

昭和62年 名古屋大学医学部卒業後、名古屋大学放射線医学教室入局と同時に内耳MRの研究をスタート

平成4年 名古屋大学助手、その後、ミシガン州立大学、ドイツマックスプランク認知神経科学研究所でMRの研究

平成16年より名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学分野助教授、平成18年7月より同、教授。

その後、病院長補佐、アイソトープ総合研究センター医学部分館長、名古屋大学 脳とこころの研究センター センター長などを歴任後、現在に至る。

専門はMRI診断、神経放射線診断や頭頸部画像診断。日本医学放射線学会、欧州放射線学会、北米放射線学会、世界耳鼻咽喉科学会、日本磁気共鳴医学会などで受賞多数。ISMRM（国際磁気共鳴医学会）のsenior fellowの称号も付与される。

欧米雑誌の査読を多く務める。Japanese Journal of Radiology編集長。

日本医学放射線学会理事、日本医学放射線学会中部地方会代表世話人。日本神経放射線学会理事、日独放射線医学交流代表幹事、日本磁気共鳴医学会監事、全国国立大学病院診療放射線部門会議幹事長、日本脳科学関連学会連合評議員など。

IL2. From Endolymphatic Hydrops to Otitis Media

司会：山嵜 達也（東京逡信病院）

演者：Stephen O'Leary（The University of Melbourne）



山嵜 達也



Stephen
O'Leary

演者略歴

Stephen O'Leary is the Head of Otolaryngology at the University of Melbourne and a senior Otolaryngologist at the Royal Victorian Eye and Ear Hospital. Prof O'Leary's clinical and research interests are in cochlear implantation, drug delivery to the ear and otology. His group specializes in clinical translation of experimental research and CI-related clinical research, and has pioneered virtual reality surgical simulation of the ear.

Prof O'Leary's special interest has been in the preservation of inner ear function during surgery on the cochlea. His team have performed pioneering work on the role of steroids in protecting the inner ear during cochlear implant surgery and were the first to record intracochlear electrocochleography real-time from a cochlear implant. This technique was developed on Cochlear's devices.

PAST APPOINTMENTS/ POSITIONS

2011–2019 Member, Board for Otolaryngology Head and Neck Surgery Royal Australasian College of Surgeons

2006–2012 Member, Board of Surgical Research Royal Australasian College of Surgeons

2007–2009 Chairman Senior Medical Staff Royal Victorian Eye and Ear Hospital

1999–2001 Senior Lecturer Dept. of Otolaryngology, University of Melbourne and Bionic Ear Institute

2001–2008 Associate Professor Dept. of Otolaryngology, University of Melbourne and Bionic Ear Institute

1998–1998 Garnett Passe Post-Training Fellow in Otology Dept Otorhinolaryngology University Hospital Utrecht, the Netherlands
Under the direction of Prof. dr. Jan Veldman and Dr Guido Smoorenburg

1994–1997 Advanced Surgical Training in Otolaryngology, NSW, Australia Royal Australasian College of Surgeons

1992–1993 Surgical training, National Health Service, UK (Senior House Officer)

1991–1992 Visiting Postdoctoral Research Fellow (Hugh Noel Puckle Scholar, 1991) University Laboratory of Physiology, Oxford, UK.
under direction of Dr David Moore

1988–1991 Ph.D. candidature, Dept. Otolaryngology, University of Melbourne Supervisors: Prof Graeme Clark, Dr Joe Tong

海外招待講演 2

10月5日(土) 8:30～9:30 第1会場

IL3. Advancing the care of patients with hearing loss: The Japan and United States collaboration

司会：東野 哲也（国際医療福祉大学病院）

演者：Douglas D. Backous（American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery / Ears Nose Throat and Allergy Associates）



東野 哲也

Douglas D.
Backous

演者略歴

Current Positions:

Otology, Neurotology and Skull Base Surgery	2017-present
Ear Nose Throat & Allergy Associates, Proliance Surgeons (Puyallup, Washington)	
President American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	2023-present
Physician Payment Policy Committee (3P)	2021-present
Examiner, American Board of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	2022-present
Director, Proliance Surgeons, Board of Directors (Seattle, Washington)	2020-present
Director, Commercial Advisory Board, Hemideina, Ltd (Melbourne, AUS)	2021-present
Principal, 17Consulting, LLC (Edmonds, Washington)	2010-present
Director, Puget Sound Advanced Otology Fellowship	2014-present
Physician Payment Policy (3 P Committee)	2021-present
American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	
Clinical Professor, Elson S. Floyd College of Medicine	2022-present
Washington State University	

Past Positions:

Director-at-large: Private Practice, Board of Directors	2017-2021
American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery Foundation	
Board of Trustees, Seattle Pacific University	2011-2019
Seattle, Washington	
Chairman, Board of Trustees	2015-2019
Swedish Medical Center (Seattle, Washington)	
Director Center for Hearing and Skull Base Surgery	2010-2017
Leadership Council, Swedish Neuroscience Institute	2014-16
Physician Executive Council (Swedish Medical Group)	2012-14
Chairman, Strategy Committee	
Virginia Mason Medical Center (Seattle, Washington)	
Founder/Director, The Listen for Life Center at Virginia Mason	1997-2010
Medical Director, Regional Clinicians Program Corporate Business Development	2004-10
Investment Committee, Virginia Mason Medical Center Board of Directors	2001-2010

特別企画

会長講演

10月3日(木) 13:40～14:00 第1会場

耳科学～小さな宇宙の魅力～

司会：欠畑 誠治（太田総合病院）

演者：曾根三千彦（名古屋大学）



欠畑 誠治



曾根三千彦

演者略歴

1987年 名古屋大学医学部卒業
1995年 名古屋大学医学部耳鼻咽喉科助手
1996年 ミネソタ大学耳鼻咽喉科留学
1998年 トヨタ記念病院耳鼻咽喉科医長
2001年 名古屋大学附属病院耳鼻咽喉科講師
2004年 名古屋大学大学院耳鼻咽喉科助教授
2016年 名古屋大学大学院耳鼻咽喉科教授
2019年 名古屋大学医学部附属病院副院長（～2024年）
2021年 名古屋大学医学部附属病院難聴支援・治療センター長
2024年 名古屋大学医学部附属病院院長アドバイザー

日本耳科学会功績賞

10月3日(木) 13:00～13:30 第1会場

司会：欠畑 誠治（医療法人愛仁会 太田総合病院 中耳内視鏡手術センター）

吉田 尚弘（自治医科大学附属さいたま医療センター）

演者：加我 君孝（独立行政法人国立病院機構 東京医療センター）



欠畑 誠治



吉田 尚弘



加我 君孝

耳科学会賞・奨励賞受賞講演他

10月4日(金) 15:05～16:20 第1会場

司会：欠畑 誠治（医療法人愛仁会 太田総合病院 中耳内視鏡手術センター）

吉田 尚弘（自治医科大学附属さいたま医療センター）

第7回日本耳科学会受賞者講演

AL-1. 聴神経腫瘍における難聴メカニズムと分子基盤の解明

藤田 岳（神戸大学）

AL-2. 安全で正確な側頭骨外科手術の確立に向けて

小宗 徳孝（九州大学）

第30回日本耳科学会奨励賞受賞者講演

AL-3. 音響耳管法が有する器質的通過性の評価能についての検討

村上 諄（杏林大学）

AL-4. 慢性中耳炎に対する経外耳道的内視鏡下耳科手術による鼓室形成術の検討—複数枚グラフィット使用の有用性について

森（齋藤） 未佑（大阪大学）

鈴鹿スタートアップ研究助成授賞式

AMPA 受容体を介したヒト脳における人工内耳手術後の聴覚可塑性神経基盤の解明

佐原 利人（東京大学）

ポータブルな耳内診察機器を用いた遠隔医療システムの構築

部坂 奈生（医療法人愛仁会太田総合病院）

ヒト内耳オルガノイドを用いた障害モデルの作成と薬剤スクリーニングへの応用

村井 尚子（京都府立医科大学）



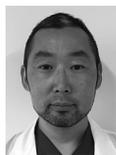
欠畑 誠治



吉田 尚弘



藤田 岳



小宗 徳孝



村上 諄



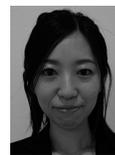
森（齋藤）
未佑



佐原 利人



部坂 奈生



村井 尚子

小さな宇宙を探究する～耳科学イメージングの世界～

司会：萩森 伸一（大阪医科薬科大学）

工 穰（信州大学）

SY1-1. MRIで診る耳科学イメージングの世界

吉田 忠雄（名古屋大学）

演者略歴

平成15年3月 名古屋大学医学部医学科卒業
平成15年5月 中部ろうさい病院研修医
平成21年10月 名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 医員
平成22年7月 フィンランド タンペレ大学留学（客員研究員）
平成22年10月 名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 助教
平成28年10月 同 講師
令和5年4月 同 准教授
現在に至る
日本耳科学会
令和6・7年度代議員
新規治療委員会（人工聴覚器WG）
ガイドライン委員会（難治性中耳炎WG）

SY1-2. 医工融合で蝸牛内部の可視化を目指す

藤田 岳（神戸大学）

演者略歴

2005年 神戸大学医学部医学科卒業
2005年 財団法人 甲南病院初期臨床研修医
2008年 神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科 医員
2012年 社会福祉法人 三井記念病院耳鼻咽喉科 医員
2013年 神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター 副医長
2014年 ハーバード大学耳鼻咽喉科・Massachusetts Eye & Ear リサーチフェロー
2016年 近畿大学医学部耳鼻咽喉科 医学部講師
2019年 神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
2023年 神戸大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科 准教授

SY1-3. 小さな魚の生体イメージングから探求する脊椎動物の耳石器官における刺激受容機構

谷本 昌志（自然科学研究機構基礎生物学研究所）

演者略歴

2006年3月 名古屋大学 理学部 生命理学科 卒業
 2008年3月 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 修士課程修了
 2009年4月 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 日本学術振興会特別研究員（DC2）
 2011年1月 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 博士課程短縮修了 博士（理学）取得
 2011年2月 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 日本学術振興会特別研究員（PD）
 2011年4月 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 助教
 2015年4月 米国ハワードヒューズ医学財団 ジャネリアリサーチキャンパス 客員研究員
 2017年4月 上原記念生命科学財団リサーチフェロー（米国ハワードヒューズ医学財団 ジャネリアリサーチキャンパス）
 2019年4月～現在 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 基礎生物学研究所／生命創成探究センター 助教



萩森 伸一



工 穰



吉田 忠雄



藤田 岳



谷本 昌志

ライフステージと多様な能力にあわせて活躍できる耳科診療の魅力

司会：小林 一女（昭和大学）

角南貴司子（大阪公立大学）

SY2-1. 市中病院女性医師としてのキャリア例

物部 寛子（日本赤十字社医療センター）

演者略歴

1996年 国立群馬大学医学部卒業

1996年 東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科研修医

JR東京総合病院，武蔵野赤十字病院，東京大学医学部附属病院，日本赤十字社医療センター，竹田総合病院，日立製作所日立総合病院，NTT東日本関東病院耳鼻咽喉科を経て

2012年より日本赤十字社医療センター耳鼻咽喉科副部長，2014年より耳鼻咽喉科部長

SY2-2. 事故で人生変わりました

北尻真一郎（北尻耳鼻咽喉科）

演者略歴

1990年4月～1996年3月 岡山大学医学部

1996年5月～1997年4月 京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科研修医

1997年5月～2001年3月 公立豊岡病院耳鼻咽喉科医員

2001年4月～2005年3月 京都大学大学院医学研究科

2005年4月～2008年9月 米国国立衛生研究所

2005年4月～2006年3月 上原記念生命科学財団 リサーチフェロー

2006年3月～2008年2月 日本学術振興会海外特別研究員

2008年10月～2017年3月 京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

2017年4月～2020年3月 信州大学

2020年4月～2020年10月 無職

2020年11月～現在 北尻耳鼻咽喉科

SY2-3. 手術から療育まで関わる耳科医を目指して

白井 杏湖（東京医科大学）

演者略歴

所属：東京医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野，東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター

略歴

2008年 東京医科大学卒業

2008-2010年 武蔵野赤十字病院初期臨床研修医

2010年 東京医科大学 耳鼻咽喉科学分野入局

2013-2014年 米国ミネソタ大学留学 側頭骨病理研究室 リサーチフェロー

2017年- 東京医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 講師

2020年- 難聴児のための児童発達支援事業・放課後等デイサービス きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ に携わる

SY2-4. 軌跡 ー大学病院勤務女性医師としてのキャリア例ー

片岡 祐子（岡山大学病院）

演者略歴

【略歴】

1998年 岡山大学医学部医学科 卒業
 同年岡山大学医学部 耳鼻咽喉科学教室入局
 以後高知県立中央病院（現 高知医療センター）
 岡山市立岡山市民病院 勤務
 2003年 岡山大学病院同院 助手（助教）
 2017年 同院 講師
 2023年 同院聴覚支援センター 准教授
 岡山大学 ユネスコチエア副チエア
 ダイバーシティ推進本部副室長
 大学病院ダイバーシティ推進センター 副センター長

【専門医】

耳鼻咽喉科専門医
 臨床遺伝専門医

【所属学会役員】

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（会報編集委員）
 日本小児耳鼻咽喉科学会（理事）
 日本耳科学会（ダイバーシティ推進委員会委員長）

【モットー】

医療には限界があり、それを補うのが教育、支えるのが福祉や開発。
 医療者として「医療と教育、福祉、開発を繋ぐこと」を目標に、情報を発信していきたい。



小林 一女



角南貴司子



物部 寛子



北尻真一郎



白井 杏湖



片岡 祐子

障害者への対応と機器開発

司会：羽藤 直人（愛媛大学）

SY3-1. 聴障防災にユニバーサルデザインを

高野 賢一（札幌医科大学）

演者略歴

2001年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業
2006年3月 札幌医科大学大学院医学研究科 修了
2006年4月 帯広厚生病院耳鼻咽喉科
2007年7月 帯広協会病院耳鼻咽喉科
2008年4月 札幌医科大学耳鼻咽喉科学講座 助教
2011年4月 米国イェール大学医学部 訪問研究員
2013年4月 札幌医科大学耳鼻咽喉科学講座 講師
2016年11月 同 准教授
2018年11月 同 教授

SY3-2. 開発で開拓する聴覚障害者の災害・緊急時における情報バリアフリー

—多職種宇宙兄弟チームの挑戦—

片岡 祐子（岡山大学病院）

演者略歴

【略歴】

1998年 岡山大学医学部医学科 卒業
同年岡山大学医学部 耳鼻咽喉科学教室入局
以後高知県立中央病院（現 高知医療センター）
岡山市立岡山市民病院 勤務
2003年 岡山大学病院同院 助手（助教）
2017年 同院 講師
2023年 同院聴覚支援センター 准教授
岡山大学 ユネスコチエア副チエア
ダイバーシティ推進本部副室長
大学病院ダイバーシティ推進センター 副センター長

【専門医】

耳鼻咽喉科専門医

臨床遺伝専門医

【所属学会役員】

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（会報編集委員）
日本小児耳鼻咽喉科学会（理事）
日本耳科学会（ダイバーシティ推進委員会委員長）

【モットー】

医療には限界があり、それを補うのが教育、支えるのが福祉や開発。
医療者として「医療と教育、福祉、開発を繋ぐこと」を目標に、情報を発信していきたい。

SY3-3. 音声言語障害者に対する発声補助アプリの開発～ Save the Voice project ～

西尾 直樹（名古屋大学）

演者略歴

2005年 名古屋大学医学部医学科 卒業
2007年 社会保険中京病院 耳鼻咽喉科 医員
2011年 名古屋大学医学部医学科 耳鼻咽喉科 医員
2014年 名古屋大学医学部医学科 耳鼻咽喉科 助教
2018年 米国スタンフォード大学 耳鼻咽喉科 研究員
2020年 名古屋大学医学部医学科 耳鼻咽喉科 助教
2021年 名古屋大学医学部医学科 耳鼻咽喉科 講師
現在に至る



羽藤 直人



高野 賢一



片岡 祐子



西尾 直樹

耳科診療用のソフトウェア開発への道筋～医療機器プログラムの開発と承認～

司会：大森 孝一（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会理事長，京都大学）

和佐野浩一郎（東海大学）

SY4-1. 学会としての医療 DX に関する今後の展開

大森 孝一（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会理事長，京都大学）

演者略歴

1985年06月～1985年10月 京都大学医学部附属病院，耳鼻咽喉科，研修医
1985年11月～1987年03月 倉敷中央病院，耳鼻咽喉科，研修医
1991年04月～1991年07月 京都大学医学部附属病院，耳鼻咽喉科，医員
1991年08月～1993年08月 京都大学医学部附属病院，耳鼻咽喉科，助手
1993年09月～1995年08月 レノックスヒル病院（ニューヨーク，米国），耳鼻咽喉科，研究員
1995年09月～1996年07月 京都大学，保健診療所，助手
1996年08月～2002年03月 西神戸医療センター，耳鼻咽喉科，診療科長
2002年04月～2003年05月 京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科，講師
2003年06月～2015年09月 福島県立医科大学 医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座，教授
2010年04月～2012年03月 福島県立医科大学，附属病院，副病院長
2015年10月～現在 京都大学大学院医学研究科，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，教授
2024年5月～現在 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 理事長

SY4-2. 耳科診療用のソフトウェア開発への道筋 医療機器プログラムの開発と承認の動向

南雲俊一郎（株式会社日本総合研究所）

演者略歴

1996年3月 東北大学大学院 工学系研究科 原子核工学（修士課程）修了
1996年4月 （株）日本総合研究所入社
1996年4月～2002年3月 サイエンス事業本部にて，原子力発電所許認可に関わる安全解析，原子力発電所立地に関わる広報支援，公的研究機関の研究開発評価業務に従事
2002年4月 総合研究部門へ移動，以降，技術戦略・新規事業コンサルティングに従事
2005年4月～2006年3月 同 社会・技術イノベーション戦略クラスター長
2007年10月～2008年3月 同 ビジネス戦略デザインクラスター長
2008年4月～2011年3月 技術価値創造戦略グループ サブディレクタ
2019年4月～ ヘルスケア・事業創造グループ ディレクタ

SY4-3. 診断用プログラム医療機器開発における留意点—評価指標とデータ利用を中心に—
 藤原 崇志（大原記念倉敷中央医療機構臨床医学研究所）

演者略歴

2009年 愛媛大学医学部卒業
 2009年 倉敷中央病院初期研修医
 2011年 倉敷中央病院後期研修医（耳鼻咽喉科）
 2012年 愛媛大学医学部付属病院 耳鼻咽喉科医員
 2015年 倉敷中央病院 耳鼻咽喉科 医員・臨床研究支援センター フェロー
 2020年 経済産業省医療・福祉機器産業室 室長補佐
 2022年 大原記念倉敷中央医療機構 臨床医学研究所 医療機器開発部 副部長
 倉敷中央病院 臨床研究支援センター 副センター長・耳鼻咽喉科 医長

SY4-4. 治療用プログラム医療機器の開発について
 和佐野浩一郎（東海大学）

演者略歴

【略歴】

2003 慶応義塾大学医学部卒業
 2003 慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科 入局
 2004-2010 関連病院にて研修
 2010-2012 慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科 助教
 2012-2016 静岡赤十字病院耳鼻咽喉科 副部長, 部長
 2016-2018 ノースウェスタン大学 耳鼻咽喉科 聴覚研究室へ留学
 2018-2022 国立病院機構東京医療センター 聴覚障害研究室 室長
 2022- 東海大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

【褒賞】

2018 Travel Awards from Association for Research in Otolaryngology (ARO), USA
 2019 第1回 日本耳鼻咽喉科学会 研究奨励賞
 2020 Special Award from United Japanese researchers Around the world (UJA)
 2021 日本医師会 医学研究奨励賞
 2023 第6回 日本耳科学会賞



大森 孝一



和佐野浩一郎



南雲俊一郎



藤原 崇志

耳科手術～術前評価のポイント～

司会：小島 博己（東京慈恵会医科大学）

北原 糺（奈良県立医科大学）

PD1-1. 局所所見からみえてくる術前評価のポイント

小森 学（聖マリアンナ医科大学）

演者略歴

■学歴および職歴

2004年：昭和大学 医学部卒業

2006年：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科

2015年：国立成育医療研究センター 国内留学

2017年：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科 講師

2017年：東京慈恵会医科大学附属第三病院 診療部長

2020年：聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科 講師

2022年：聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科 主任教授

■専門分野：耳科学，小児耳鼻咽喉科学，聴覚医学

PD1-2. 純音聴力検査による中耳病変の評価

水足 邦雄（防衛医科大学校）

演者略歴

現職

防衛医科大学校 耳鼻咽喉科学講座 准教授

経歴

1999年3月 横浜市立大学医学部 卒業

1999年4月 慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室入局，同研修医

2006年7月 慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室 助教

2008年7月 博士（医学），慶應義塾大学医学部大学院

2009年9月 Department of Otology and Laryngology, Harvard Medical School Postdoctoral Research Fellow (PI: Albert Edge)

2012年8月 国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科 医員

2014年4月 防衛医科大学校 耳鼻咽喉科学講座 講師

2023年10月 防衛医科大学校 耳鼻咽喉科学講座 准教授 現在に至る

PD1-3. 耳科手術におけるめまいと前庭機能の評価

山中 敏彰（近畿大学）

演者略歴

〈学歴・職歴〉

1988年 奈良県立医科大学卒業
 1994年 奈良県立医科大学助手（耳鼻咽喉科）
 1997年 英国エジンバラ大学医学部 神経科学センター（1年間3ヶ月）
 2000年 奈良県立医科大学講師（耳鼻咽喉科）
 2005年 米国ウイスコンシン大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外学（1年間1ヶ月）
 2009年 奈良県立医科大学准教授（耳鼻咽喉・頭頸部外科）
 2016年 奈良県立医科大学病院教授（めまいセンター）
 2022年 近畿大学医学部特命教授（耳鼻咽喉・頭頸部外科）
 2023年 近畿大学医学部教授（耳鼻咽喉・頭頸部外科）

〈学会活動〉

日本耳科学会：代議員
 日本めまい・平衡医学会：代議員， Active member
 日本薬理学会：学術評議員
 日本宇宙航空環境医学会：評議員
 American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery: International Member
 Barany Society: Regular Member
 International Society of Posture and Gait Research: Regular Member
 International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism: Active Member

〈社会活動〉

日本めまい平衡医学会誌 Equilibrium Research：編集委員長
 耳鼻咽喉科臨床：編集委員

PD1-4. 耳科手術に必要な画像診断

太田 有美（大阪大学）

演者略歴

略歴：

1996年 大阪大学医学部医学科卒業
 1996年 大阪大学医学部附属病院 研修医
 1997年 国立大阪病院（現 国立病院機構大阪医療センター） 研修医
 1998年 大阪大学耳鼻咽喉科学教室 研究生
 2001年 市立堺病院耳鼻咽喉科 医員
 2008年 市立伊丹病院耳鼻咽喉科 医長
 2009年 兵庫県立西宮病院耳鼻咽喉科 医長
 2010年 大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教
 2022年 大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
 2023年 大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

資格：

日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医，補聴器適合判定医，補聴器相談医，めまい相談医，臨床遺伝専門医，日本耳科学会認定耳科手術暫定指導医



小島 博己



北原 紘



小森 学



水足 邦雄



山中 敏彰



太田 有美

耳科手術～合併症とその対応～

司会：田中 康広（獨協医科大学埼玉医療センター）

大石 直樹（慶應義塾大学）

症例提示：田中 康広（獨協医科大学埼玉医療センター）

PD2-1. 耳科手術～合併症とその対応～「内耳瘻孔」

白馬 伸洋（帝京大学医学部附属溝口病院）

演者略歴

1991年3月 愛媛大学大学院医学部 卒業
1991年6月 神戸市立中央市民病院 研修医
1994年4月～1998年3月 愛媛大学大学院医学系研究科
1998年4月 愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助手
1998年10月～1999年9月 長寿科学財団若手研究員として英国グラスゴー大学神経科学教室に長期出張
2005年10月 大阪赤十字病院耳鼻咽喉科 副部長
2007年4月 愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
2014年3月 愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授
2015年1月 帝京大学医学部附属溝口病院耳鼻咽喉科 科長・教授

PD2-2. 耳科手術 合併症とその対応：顔面神経の取り扱い

濱田 昌史（東海大学）

演者略歴

1989年3月 高知医科大学（現、高知大学医学部）卒業
1989年4月 高知医科大学耳鼻咽喉科教室入局
1990年1月 高知市立市民病院研修医
1991年4月 医療法人聖祥会聖ヶ岡病院耳鼻咽喉科医長
1992年4月 国保仁淀病院耳鼻咽喉科医長
1993年4月 高知医科大学医学部耳鼻咽喉科医員
1996年4月 米国Harvard大学医学部耳鼻咽喉科research fellow
1999年3月 高知医科大学大学院博士課程修了
1999年4月 高知医科大学医学部助手
2006年4月 イタリア, Piacenza (Mario Sanna教授) 客員研究員
2008年7月 東海大学医学部耳鼻咽喉科講師
2013年4月 東海大学医学部耳鼻咽喉科准教授
2019年4月～東海大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授

PD2-3. 耳科手術～合併症とその対応～ 内耳道・頭蓋底

大石 直樹（慶應義塾大学）

演者略歴

2000年 慶應義塾大学医学部卒業
2006年 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科 助教
2010年 ミシガン大学 耳鼻咽喉科 訪問研究員
2013年 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科 専任講師・医局長
2021年 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科 准教授・診療科副部長
2024年 慶應義塾大学病院 聴覚センター センター長

PD2-4. 耳科手術～合併症とその対応～ 「脈管」

平海 晴一（天理よろづ相談所病院）

演者略歴

1995年3月 京都大学医学部 卒業
1995年5月 京都大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
1996年6月 兵庫県立尼崎病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
1998年6月 公立豊岡病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2003年7月 京都大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2014年11月 岩手医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科
2023年7月 天理よろづ相談所病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長
現在に至る
2006年10月 グルッポ・オトロジコ（イタリア）客員医師
2007年2月 ハウス耳科学研究所（アメリカ）客員医師



田中 康広



大石 直樹



白馬 伸洋



濱田 昌史



平海 晴一

小児耳科手術～迷う症例の decision making ～

司会：伊藤 真人（自治医科大学）

飯野ゆき子（東京北医療センター）

PD3. 司会の言葉

伊藤 真人（自治医科大学）

略歴

現職：自治医科大学耳鼻咽喉科教授

小児耳鼻咽喉科 教授

略歴：山形大学医学部医学科卒 1986年度卒（1981年4月～1987年3月）

金沢大学医学部大学院卒 1992年度卒（1989年4月～1993年3月）

カールトン大学（Canada, Ottawa）Post Doctoral Research Fellow

心理学部感覚神経研究所 聴覚中枢研究室（1993年4月～1995年3月）

金沢大学大学院准教授感覚運動病態学（2009年7月）

金沢大学附属病院臨床教授（2012年11月）

自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児耳鼻咽喉科教授（2013年12月）

自治医科大学耳鼻咽喉科教授兼務（2021年10月）

現在に至る

PD3-1. 小児耳科手術で迷った症例（How I do it）と、再手術症例の検討

橋本 研（自治医科大学）

演者略歴

2009年 東北大学医学部卒業

2011年 東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科入局

2016年～2018年 Massachusetts Eye and Ear Infirmary（Lieberman研究室）へ留学し cochlear synaptopathyの研究に従事

2021年 東京女子医科大学東医療センター（現 足立医療センター）助教

2022年 自治医科大学助教

2023年 同講師

PD3-2. 小児の穿孔性中耳炎に対する穿孔閉鎖時期とその方法

金沢 弘美（自治医科大学附属さいたま医療センター）

演者略歴

平成12年3月 新潟大学医学部医学科卒業

平成12年4月～東京医科歯科大学附属病院耳鼻咽喉科

平成14年～ 千葉県国保旭中央病院耳鼻咽喉科

平成16年～ 顕正会蓮田病院耳鼻咽喉科

平成17年～ 草加市立病院耳鼻咽喉科

平成21年～ 自治医大さいたま医療センター耳鼻咽喉科（助教）

平成26年～ さいたま市民医療センター耳鼻咽喉科勤務（科長）

平成29年～ 自治医大さいたま医療センター耳鼻咽喉・頭頸部科（講師）

PD3-3. 中・内耳形態異常を伴う小児人工内耳手術

南 修司郎 (国立病院機構東京医療センター)

演者略歴

平成13年 慶應義塾大学医学部卒業
 平成14年 ミシガン大学クレスギ聴覚研究所研究員
 平成17年 慶應義塾大学医学部大学院卒業 医学博士取得
 平成17年 済生会宇都宮病院 耳鼻咽喉科
 平成19年 静岡赤十字病院 耳鼻咽喉科
 平成20年 国立成育医療センター 第二専門診療部 耳鼻咽喉科
 平成21年 慶應義塾大学医学部助教 (耳鼻咽喉科)
 平成22年～ 国立病院機構東京医療センター 耳鼻咽喉科 (平成27年4月より科長)
 令和3年～ 国立病院機構東京医療センター 人工内耳センター センター長
 現在に至る

PD3-4. 小児癒着性中耳炎への対応と、合併症を有する児に対する耳科手術の留意点

飯野ゆき子 (東京北医療センター)

演者略歴

東北大学医学部卒業
 東北大学医学部耳鼻咽喉科学教室入局
 ロンドン医科大学口腔微生物学教室留学
 国立医療センター耳鼻咽喉科厚生技官
 帝京大学医学部耳鼻咽喉科助教授, 同 教授をへて
 2006年1月 自治医科大学附属大宮医療センター (現さいたま医療センター) 耳鼻咽喉科教授
 2008年4月 自治医科大学総合医学第II講座 (外科系総合講座) 主任教授
 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
 2015年4月 自治医科大学名誉教授・客員教授
 東京北医療センター耳鼻咽喉科 科長
 難聴・中耳手術センター センター長
 現在に至る



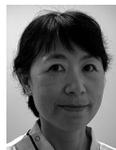
伊藤 真人



飯野ゆき子



橋本 研



金沢 弘美



南 修司郎

The 3rd Japan, Korea and Taiwan Co-Organized Session

司会：池園 哲郎（埼玉医科大学）

松本 有（東京警察病院）

JKT-1. Utilizing of Virtual Reality for Surgical Training in Otology

松延 毅（日本医科大学）

演者略歴

Associate Professor(2017-present)

Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nippon Medical School, Graduate School of Medicine

● Under graduate; Keio University, School of Medicine, 1989-1995

● Graduate; Keio University, School of Medicine, Dept. of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, 1997-2001

● Post doctoral fellow; Hresge Hearing Research Institute, The University of Michigan, Ann Arbor, MI, USA 1997-1999

● Resident; Dept. of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Keio University, School of Medicine, Tokyo; 1995-2007

● Assistant Professor Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, 2007-2011

● Associate Professor Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, 2011-2014

● Consultant and Director Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery
New Tokyo Hospital, Matsudo, Chiba, 2015-2016

JKT-2. Benefits of active middle ear implants in conductive hearing loss by various coupling technique

Jae Young Choi (Yonsei University)

演者略歴

·PRESENT TITLE AND AFFILIATION

▶ Dean, college of medicine

▶ President, Korean Otological Society

▶ Professor, Department of Otorhinolaryngology, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea

Professional experiences

Vice Dean, Student affairs

Vice Dean, Postgraduate school

MAJOR RESEARCH INTERESTS

Ion transporter (SLC26A4, CFTR)

Genetics, Hereditary hearing loss

Auditory implant

EDUCATION

Degree-Granting Education

Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea, MD, 1992

The Graduate school, Yonsei University, Seoul, Korea, MS, 2001

The Graduate school, Yonsei University, Seoul, Korea, PhD, 2005

Postdoctorial fellowship Cystic fibrosis research Lab, Stanford University, USA, 2005-2007

Board Certification

Korean board of Otolaryngology, 2015, 3/2000

Licensure(s)

Medical Doctor, 47247, 3/1992

JKT-3. Simulation in Otology

Fang Te-Yung (Cathay General Hospital)

演者略歴

Current Affiliation

- Staff Otolaryngologist, Department of Otolaryngology, Cathay General Hospital, Taipei, Taiwan
- Chief of Department of Otolaryngology, Sijhih Cathay General Hospital, New Taipei City, Taiwan.
- Lecturer at Fu Jen Catholic University School of Medicine, New Taipei City, Taiwan

Training

- Residency, Department of Otolaryngology, Cathay General Hospital, Taipei, Taiwan
- Research Fellowship, Otology and Neurotology group, Otolaryngology, Vanderbilt University Medical center, Nashville, TN, USA

Bibliography

1. Fang TY, Lin TY, Shen CM, Hsu SY, Lin SH, Kuo YJ, Chen MH, Yin TK, Liu CH, Lo MT, Wang PC. Algorithm-Driven Tele-otoscope for Remote Care for Patients With Otitis Media. *Otolaryngol Head Neck Surg*. 2024 Mar 28.
2. Fang TY, Hsu SY, Su JM, Wang PC. Development of a mobile tele-education system to assist remote otolaryngology learning during COVID-19 pandemic. *Comput Methods Programs Biomed Update*. 2023;3:100102.
3. Chen YW, Lin PH, Fang TY, Wu CC, Wang PC, Wang H, Ko Y. Health Utilities of Bilateral Severe-to-Profound Hearing Loss with Assistive Devices. *Healthcare (Basel)*. 2023 Jun 5;11(11):1649.
4. Fang TY, Cheng LJ, Wu DB, Wang PC. Cost-effective analysis of unilateral cochlear implantation under the Taiwan national healthcare insurance. *Int J Audiol*. 2019 Sep 9:1-6.
5. Tran TT, Fang TY, Pham VT, Lin C, Wang PC, Lo MT. Development of an Automatic Diagnostic Algorithm for Pediatric Otitis Media. *Otol Neurotol*. 2018 Sep;39(8):1060-1065.
6. Fang TY, Rafai E, Wang PC, Bai CH, Jiang PL, Huang SN, Chen YJ, Chao YT, Wang CH, Chang CH. Pediatric otitis media in Fiji: Survey findings 2015. *Int J Pediatr Otorhinolaryngol*. 2016 Jun;85:50-5.
7. Shie CK, Chang HT, Fan FC, Chen CJ, Fang TY, Wang PC. A hybrid feature-based segmentation and classification system for the computer aided self-diagnosis of otitis media. *Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc*. 2014;2014:4655-8.
8. McRackan TR, Fang TY, Pelosi S, Rivas A, Dietrich MS, Wanna GB, Labadie RF, Haynes DS, Bennett ML. Factors associated with recurrence of squamous cell carcinoma involving the temporal bone. *Ann Otol Rhinol Laryngol*. 2014 Apr;123(4):235-9.
9. Fang TY, Wang PC, Liu CH, Su MC, Yeh SC. Evaluation of a haptics-based virtual reality temporal bone simulator for anatomy and surgery training. *Comput Methods Programs Biomed*. 2014 Feb;113(2):674-81.
10. Fang TY, Tsai BS, Rivas A, Haynes DS. Benign neoplasia, paragangliomas-glomus tympanicum. In: Kountakis SE, editors. *Encyclopedia of otolaryngology, head and neck surgery*. New York: Springer Berlin Heidelberg, 2013; p. 264-270.



池園 哲郎



松本 有



松延 毅

Jae Young
ChoiFang
Te-Yung

The 3rd Asia-Pacific Session

司会：角南貴司子（大阪公立大学）

森田 由香（富山大学）

AP-1. Cochlear implantation and optimising communication development in children with moderate to severe hearing levels

Katie Neal（The Shepherd Centre）

演者略歴

Katie is the Principal of Research and Clinical Learning and Development at The Shepherd Centre (Sydney, Australia). She holds Master's degrees in Research and Clinical Audiology and Bachelor's degrees in Health Science and Advanced Science (Neuroscience). Katie specialises in cochlear implantation and translational research, with a dedication to understanding the impact of hearing loss on listening and communication across all life stages.

Katie's research, clinical knowledge, and lived experience emphasise the importance of understanding and measuring listening and communication challenges in their real-life context and from the perspective of those who experience them. She embraces the complexity of this process and focuses on using innovative approaches to think differently about it. In her current role, Katie supports the development and implementation of practice-based evidence to inform clinical research and drive evidence-based changes in clinical measurement and practice.

AP-2. Cochlear implantation in Singapore: A team based approach

Ng Jia Hui (Singapore General Hospital)

演者略歴

Dr Ng Jia Hui is a Consultant with the Department of Otorhinolaryngology at Singapore General Hospital, and Clinical Assistant Professor at the Duke-NUS medical school. She completed her fellowship training in Otolary and Skull Base Surgery at Sir Charles Gairdner Hospital in Perth, Australia.

EDUCATION

1996–2001 Primary School, Singapore Chinese Girls School, NA
 2002–2005 Secondary School, Raffles Girls' Secondary School, NA, seamless programme
 2006–2007 Junior College, Raffles Junior College, GCE A levels
 2008–2013 Basic Degree, National University of Singapore, Yong Loo Lin School of Medicine, MBBS
 2014 Postgraduate Degree, Royal College of Surgeons of England, MRCS (Edin)
 2016 National University of Singapore, Yong Loo Lin School of Medicine, MMed (ORL)
 2019 Academy of Medicine of Singapore, FAMS (ORL)

POST-GRADUATE TRAINING

05/2013–08/2013 Changi General Hospital, Internal Medicine, House Officer
 09/2013–12/2014 Singapore General Hospital, Orthopedics, House Officer
 01/2014–04/2014 Singapore General Hospital, General Surgery, House Officer
 05/2014–06/2014 Singapore General Hospital, Anaesthesia, Medical Officer
 07/2014–12/2014 Singapore General Hospital, General Surgery, Medical Officer (R1 in ENT)
 01/2015–06/2015 Singapore General Hospital, ENT, Medical Officer (R1 in ENT)
 07/2015–12/2015 Changi General Hospital, ENT, Medical Officer (R2 in ENT)
 01/2016–06/2016 Singapore General Hospital, ENT, Medical Officer (R2 in ENT)
 07/2016–09/2016 Singapore General Hospital, ENT, Registrar (R3 in ENT)
 10/2016–12/2016 Singapore General Hospital, Plastic and Reconstructive & Aesthetic Surgery, Medical Officer (R3 in ENT)
 01/2017–06/2017 KK Women's and Children's Hospital, ENT, Registrar (R3 in ENT)
 07/2017–12/2017 Changi General Hospital, ENT, Registrar (R4 in ENT)
 01/2018–06/2018 Singapore General Hospital, ENT, Registrar (R4 in ENT)
 07/2018–12/2018 Singapore General Hospital, ENT, Registrar (R5 in ENT)
 01/2019–06/2019 Changi General Hospital, ENT, Registrar (R5 in ENT)
 07/2019–08-2019 Singapore General Hospital, ENT, Registrar
 09/2019–11/2021 Singapore General Hospital, ENT, Associate Consultant
 08/2021–07/2022 Sir Charles Gairdner Hospital, Perth Australia, ENT, Otolary and Skull Base Surgery Fellow
 11/2021–present Singapore General Hospital, ENT, Consultant

AP-3. Personalized Precise Operation to Preserve Residual Hearing in Cochlear Implantation

Choung Yun-Hoon (Ajou University Medical Center)

演者略歴

EDUCATION:

March 1, 1999–August 24, 2001: PhD course in the department of Medical Science, The Graduate School, Ajou University, Suwon, Korea

March 1, 1997–February 22, 1999: Master's degree course in the department of Medical Science, The Graduate School, Ajou University, Suwon, Korea

March 1, 1992–February 22, 1996: Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea (Valedictorian)

March 1, 1983–February 25, 1989: College of Dentistry, Seoul National University, Seoul, Korea

March 1, 1980–February 12, 1983: Daewon high school, Seoul, Korea (Valedictorian)

ACADEMIC APPOINTMENT

September 1, 2014–August 31, 2018: Vice-Dean in Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2011–Present: Professor in the Department of Otolaryngology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2009–Present: Director of Ajou Hearing Center, Ajou University Hospital, Suwon, Korea

October 1, 2010–August 30, 2014: Head of the Integrated Medical Education Committee, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2009: February 28, 2015: Chairman in the Department of Otolaryngology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2006–February 28, 2010: Associate Professor in the Department of Otolaryngology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2002–February 28, 2006: Assistant Professor in the Department of Otolaryngology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

March 1, 2001–February 28, 2002: Instructor in the Department of Otolaryngology, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea

RESEARCH TRAINING:

Division of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, University of California San Diego, USA

(June, 2007–May, 2008) – Supervisor: Prof. Allen F. Ryan

MAJOR RESEARCH OF INTEREST

Development of drugs preventing or treating sensorineural hearing loss

The mechanism of hair cell damage and protection/regeneration

Tissue engineering and stem cells: auditory hair cell regeneration, organoid, eardrum and bone regeneration

Middle ear disease – cholesteatoma, otitis media with effusion



角南貴司子



森田 由香



Katie Neal



Ng Jia Hui



Choung
Yun-Hoon

教育セミナー 1

10月3日(木) 8:30～9:30 第2会場

外耳・中耳の基本処置

司会：田中 康広（獨協医科大学埼玉医療センター）

ES1-1. こんなときどうする？ 外耳・中耳の処置における診療上のポイントとピットホール

田中 康広（獨協医科大学埼玉医療センター）

演者略歴

1992年3月 東京慈恵会医科大学卒業
1994年5月 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学講座医員
1999年7月 米国ハーバード大学ダナ・ファーバー癌研究所留学
2001年12月 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学講座復帰
2004年7月 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学講座講師
2011年4月 獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科学教室主任教授
2017年11月 獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉科学教室主任教授
（名称変更に伴い）
2021年6月 獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室
主任教授（名称変更に伴い）

ES1-2. その耳漏を改善するちょっとしたコツ

森田 由香（富山大学）

演者略歴

1998年 新潟大学卒業
同大学耳鼻咽喉科入局
2007年 同大学大学院修了
2011年 同大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教
2015年 同・講師
2021年 同・医学部准教授
2023年1月 同・准教授
2023年9月 現職



田中 康広



森田 由香

薬剤性内耳障害～臨床で必須の知識～

司会：池田 勝久（順天堂東京江東高齢者医療センター）

ES2-1. 薬剤性内耳障害 臨床で必須の知識—薬剤全身投与による難聴—

田淵 経司（筑波大学）

演者略歴

1993年 筑波大学医学専門学群卒業
2000年 筑波大学大学院博士課程医学研究科生理系専攻 修了
2003年 筑波大学医学医療系 講師
2005年 University of California San Diego校客員研究員（Dr. A.F. Ryan研究室）
2019年 筑波大学医学医療系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授

ES2-2. 薬剤性内耳障害（局所に使用される薬剤）

菅原 一真（山口大学）

演者略歴

平成8年3月 山口大学医学部卒業
平成8年4月 山口大学医学部耳鼻咽喉科入局
平成8年5月 山口大学医学部附属病院耳鼻咽喉科医員（研修医）
平成10年4月 山口大学大学院医学研究科入学
平成14年3月 山口大学大学院医学研究科修了
平成14年4月 山口大学医学部助手
平成15年2月 米国ワシントン大学医学部耳鼻咽喉科客員研究員
（平成15年7月～平成16年6月は文部科学省在外研究員として派遣）
平成17年4月 山口大学大学院医学系研究科助手
平成20年10月 山口大学医学部附属病院講師
平成29年4月 山口大学大学院医学系研究科准教授

現在に至る

学会活動

日本耳鼻咽喉科学会
日本耳鼻咽喉科学会山口県地方分会
日本耳科学会
日本抗加齢医学会
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会
日本遺伝カウンセリング学会
日本化学療法学会
日本めまい平衡医学会
日本嚥下医学会
日本聴覚医学会
日本頭頸部外科学会
日本アレルギー学会
耳鼻咽喉科臨床学会



池田 勝久



田淵 経司



菅原 一真

教育セミナー 3

10月4日(金) 9:15～10:15 第2会場

各種聴覚機器の適応と知っておくべき福祉制度

司会：岩崎 聡（国際医療福祉大学三田病院）

ES3-1. 人工聴覚器の適応と関連する福祉制度

岩崎 聡（国際医療福祉大学三田病院）

演者略歴

1986年 三重大学医学部卒業
1986年 浜松医科大学耳鼻咽喉科入局
1998年 米国ハウス耳科学研究所留学
2000年 浜松医科大学耳鼻咽喉科講師
2010年 信州大学医学部人工聴覚器学講座 教授
2013年 国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科 教授
2016年 聴覚・人工内耳センター長も併任
2021年 国際医療福祉大学大学院医学部教授併任
現在に至る

ES3-2. 補聴機器に関連する福祉制度

石川浩太郎（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

演者略歴

1992年3月：自治医科大学医学部卒業
1992年4月～1998年3月：神奈川県（神奈川県立厚木病院，神奈川県立藤野診療所など）
1998年4月～2002年3月：自治医科大学大学院
2002年4月～2005年3月：自治医科大学耳鼻咽喉科学教室助手
2005年4月～2007年3月：米国国立衛生研究所（NIH）客員研究員
2007年4月～2013年3月：自治医科大学耳鼻咽喉科学教室講師
2013年4月～国立障害者リハビリテーションセンター病院耳鼻咽喉科医長
2022年4月～国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部長
2023年4月～国立障害者リハビリテーションセンター病院副院長（現職）



岩崎 聡



石川浩太郎

臨床研究の立案と解析のコツ～症例数の設計は？ t検定でよいの？～

司会：松永 達雄（国立病院機構東京医療センター）

ES4-1. 臨床研究の立案と解析のコツ ～症例数の設計は？ t検定でよいの？～

和佐野浩一郎（東海大学）

演者略歴

【略歴】

2003 慶応義塾大学医学部卒業
2003 慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科 入局
2004-2010 関連病院にて研修
2010-2012 慶応義塾大学医学部耳鼻咽喉科 助教
2012-2016 静岡赤十字病院耳鼻咽喉科 副部長, 部長
2016-2018 ノースウェスタン大学 耳鼻咽喉科 聴覚研究室へ留学
2018-2022 国立病院機構東京医療センター 聴覚障害研究室 室長
2022- 東海大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

【褒賞】

2018 Travel Awards from Association for Research in Otolaryngology (ARO), USA
2019 第1回 日本耳鼻咽喉科学会 研究奨励賞
2020 Special Award from United Japanese researchers Around the world (UJA)
2021 日本医師会 医学研究奨励賞
2023 第6回 日本耳科学会賞



松永 達雄



和佐野浩一郎

テーマセッション 1

10月3日(木) 9:40～10:40 第2会場

診療所から発信する耳科学の魅力

司会：水田 邦博（浜松医療センター）

TS1-1. 手術をしているから頑張っています！

河野 浩万（河野耳鼻咽喉科 Ear Surgi Clinic）

演者略歴

1986年 宮崎医科大学卒業
同大学耳鼻咽喉科入局
1988年 同大学、助手
1991年 宮崎県立宮崎病院耳鼻咽喉科
1996～98年 米国ミネソタ大学留学
2003年 宮崎大学耳鼻咽喉科、講師
2006年 同大学、准教授
2010年 河野耳鼻咽喉科Ear Surgi Clinic、院長

TS1-2. タイムパフォーマンス（タムパ）の観点から見た耳科学専攻の魅力

名倉三津佳（医療法人社団たんぽぽ ENT 名倉クリニック）

演者略歴

1989年 浜松医科大学医学部医学科卒業
1989年 浜松医科大学耳鼻咽喉科学教室入局
1989年 聖隷浜松病院耳鼻咽喉科
1991年 富士宮市立病院耳鼻咽喉科
1994年 社会保険浜松病院耳鼻咽喉科部長
1996年 浜松医科大学大学院医学研究科入学
1999年 米国House Ear Institute 訪問研究員
2000年 浜松医科大学大学院医学研究科卒業 学位取得（医学博士）
2000年 米国House Ear Institute 博士研究員
2001年 浜松医科大学耳鼻咽喉科医員
2001年 浜松医科大学耳鼻咽喉科助手
2005年 浜松医科大学耳鼻咽喉科講師
2006年 ENT名倉クリニック開院
現在に至る



水田 邦博



河野 浩万



名倉三津佳

患者に寄り添う耳科診療

司会：瀬尾 徹（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

TS2-1. 医学的に説明できない症状への対応

五島 史行（東海大学）

演者略歴

1994年 慶応義塾大学医学部卒業
1998年 慶応義塾大学医学部博士課程
1999年 ドイツ・ミュンヘン大学生理学教室に留学
2001年 東京医科大学生理学教室国内留学
2004年 日本大学板橋病院 心療内科研究員
2008年 日野市立病院耳鼻咽喉科部長
2009年 成育医療研究センター病院 非常勤医師
2014年 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 臨床研究センター 平衡覚障害研究室室長
2018年 東海大学医学部耳鼻咽喉科准教授
2024年 東海大学医学部耳鼻咽喉科教授（現職）

TS2-2. 耳科診療における Shared Decision Making (SDM)

清水 謙祐（医療法人建悠会吉田病院）

演者略歴

1985年 宮崎県立宮崎大宮高等学校卒業 長崎大学医学部医学科入学 1987年休学, シベリア鉄道旅行
1992年 長崎大学医学部医学科卒業
1994年 宮崎医科大学耳鼻咽喉科入局
2005年 医療法人悠生会吉田病院精神科勤務
2006年 宮崎大学医学部大学院入学
2011年 宮崎大学医学部大学院卒業 医学博士取得 同大学耳鼻咽喉科非常勤講師
2019年 宮崎大学耳鼻咽喉科臨床教授
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医2000年, 精神保健指定医2009年, 日本精神神経学会認定専門医2018年・指導医2019年, 日本めまい平衡医学会代議員・専門会員2006年・めまい相談医2011年, バラニー学会正会員2013年, 補聴器相談医2006年, 日本医師会認定産業医2005年, 嚥下機能評価研修会修了2015年, 認知症サポート医2017年, Neurootological and Equilibriometric Society 正会員2021年, コンサータ錠登録医師2017年, リタリン登録医師2018年, ADHD適正流通管理システムコンサータ錠ピバンセカプセル登録医師2021年, アルコール依存症臨床医等研修医師コース終了2021年, 認知症診療医2021年, 日本耳科学会認定医2024年

TS2-3. 患者に寄り添う耳科診療 ―日常診療における工夫―

瀬尾 徹（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

演者略歴

昭和61年3月 兵庫医科大学医学部医学科卒業
 昭和61年4月 兵庫医科大学大学院医学研究科
 平成5年1月 兵庫医科大学耳鼻咽喉科助手
 平成7年4月から平成8年3月 米国Bowman Gray医大耳鼻咽喉科研究員
 平成15年4月 宝塚市立病院耳鼻咽喉科部長
 平成19年4月 兵庫医科大学耳鼻咽喉科講師→准教授
 平成21年4月 大阪中央病院耳鼻咽喉科部長・大阪めまいセンター長
 平成25年4月 近畿大学医学部耳鼻咽喉科准教授
 平成31年4月 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院耳鼻咽喉科特任准教授
 令和3年4月 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院耳鼻咽喉科病院教授
 令和4年4月 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院耳鼻咽喉科教授
 同 8月 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院めまいセンター長兼任

■専門■

神経耳科学（めまい，難聴）

めまいの外科的療法

■所属学会■

日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会 英文誌委員会委員，専門医
 日本めまい平衡医学会 理事，代議員，専門会員，めまい相談医
 日本耳科学会耳科手術暫定指導医
 日本宇宙航空環境医学会 認定医
 日本耳鼻咽喉科心身医学研究会 世話人
 姿勢と歩行研究会 世話人
 Association for Research in Otolaryngology, Active Member
 Barany Society, Member



瀬尾 徹



五島 史行



清水 謙祐

耳科手術教育～学ぶ立場からの提案～

司会：吉田 尚弘（自治医科大学附属さいたま医療センター）

綾仁 悠介（大阪医科薬科大学）

演者略歴

2011年 大阪医科大学卒業
2013年 同大学耳鼻咽喉科入局
2015年 大阪府済生会中津病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2016年 市立ひらかた病院耳鼻咽喉科
2016年 大阪医科大学大学院修了
2017年 大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科，助教（准）
2018年 大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科，助教
2022年 大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科，講師（准）
2023年 大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科，講師

小林 万純（名古屋大学）

演者略歴

2013年 名古屋大学医学部卒業
2015年 名古屋第一赤十字病院（現：日赤愛知医療センター名古屋第一病院）耳鼻咽喉科
2017年 名古屋大学耳鼻咽喉科
2022年 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻修了
2022年 名古屋大学耳鼻咽喉科 助教
2024年 日本耳科学会認定医

門脇 誠一（筑波大学附属病院）

演者略歴

2011年 東北大学医学部卒業，大崎市民病院で初期研修
2013年 大崎市民病院耳鼻咽喉科後期研修
2014年 宮城県立がんセンター レジデント
2015年 東京女子医科大学東医療センター 医療練士
2017年 マンチェスター大学病院(Prof. Simon Lloyd) 臨床留学
2017年 東京女子医科大学東医療センター 助教
2023年 国際医療福祉大学大学院医学系研究科博士課程医学研究科医学専攻修了
2023年 東京北医療センター医員
2024年 筑波大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師



吉田 尚弘



綾仁 悠介



小林 万純



門脇 誠一

テーマセッション 4

10月3日(木) 17:35～18:35 第2会場

手術耳への補聴器装用～適応と工夫～

司会：内田 育恵（愛知医科大学）

TS4-1. 一般臨床における術後耳への補聴器装用

柘植 勇人（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

演者略歴

1987年 愛知医科大学医学部卒業
2009年 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 耳鼻咽喉科部長 ～現在に至る
2019年 名古屋大学耳鼻咽喉科頭頸部外科 非常勤講師併任
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 代議員
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 地方部会理事
愛知県耳鼻咽喉科医会 理事
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 愛知県補聴器キーパーソン

TS4-2. Canal Wall Down 術後耳に対する補聴器適合

内田 育恵（愛知医科大学）

演者略歴

1990年 大阪医科大学医学部卒業
1998年 長寿科学振興財団 感覚器障害研究推進事業により、米国Oregon Hearing Research Center派遣
1999年 名古屋大学医学部耳鼻咽喉科文部教官助手
2010年 国立長寿医療研究センター耳鼻咽喉科医長／名古屋大学耳鼻咽喉科 非常勤講師
2011年 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科 講師
2015年 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科 准教授
2022年 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授（特任）
現在に至る

TS4-3. 軟骨伝導補聴器による軟骨鼓膜振動法の効果について

小森 正博, 他（高知大学）

演者略歴

1993年3月 愛媛大学医学部 卒業
2003-2005年 米国ミネソタ大学耳鼻咽喉科に留学
2007年1月 鷹の子病院 耳鼻咽喉科科長
2009年7月 高知大学医学部耳鼻咽喉科 助教
2010年4月 高知大学医学部耳鼻咽喉科 講師
2024年1月 高知大学医学部耳鼻咽喉科 准教授



内田 育恵



柘植 勇人



小森 正博

側頭骨組織病理が導く耳科診療レベルアップへの知識

司会：萩森 伸一（大阪医科薬科大学）

TS5-1. 耳科手術に絶対役立つヒト側頭骨組織解剖の知識—術前画像・術中所見との融合—

萩森 伸一（大阪医科薬科大学）

演者略歴

1989年3月 大阪医科大学 卒業
同年6月 大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室 入局
1992年7月 大阪府済生会中津病院 医員
1996年10月 大阪医科大学耳鼻咽喉科学 助手
1998年7月 米国ピッツバーグ大学耳鼻咽喉科 研究員
2000年6月 大阪医科大学耳鼻咽喉科学 講師
2005年8月 大阪医科大学耳鼻咽喉科学 准教授
2017年6月 大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 専門教授
2021年4月 大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 専門教授
2024年4月 大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授

TS5-2. 副損傷なく耳科手術を行うためのミニ知識 —各種疾患の病理組織標本の視点から—

假谷 伸（川崎医科大学）

演者略歴

1992年 岡山大学医学部卒業
1992年 岡山大学耳鼻咽喉科
1995年 徳島大学難聴診療部
1996年 香川県立中央病院耳鼻咽喉科
2002年 岡山大学耳鼻咽喉科
2003年 米国ミネソタ大学耳鼻咽喉科
2004年 岡山大学耳鼻咽喉科
2022年 川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科



萩森 伸一



假谷 伸

テーマセッション 6

10月5日(土) 10:40～11:40 第2会場

耳科学基礎研究の魅力

司会：中川 尚志（九州大学大学院）

TS6-1. 研究はおもしろい

藤岡 正人（北里大学病院）

演者略歴

2002年3月 慶應義塾大学医学部卒。卒後、同耳鼻咽喉科学教室入局。
 2003年4月 同大学院博士課程。生理学教室で岡野栄之教授に師事。卒後、同生理学教室助手を経て
 2006年9月 Harvard大学医学部 耳科・喉頭科 上級研究員（Albert Edge研究室）
 Massachusetts Eye and Ear Infirmary, Eaton-Peabody 研究所 ポスドク
 その後、慶大耳鼻科助教、専任講師、同大ウェルビーイングリサーチセンター（川崎市）兼任研究員などを経て、
 2022年2月 北里大学医学部 分子遺伝学 主任教授
 2022年4月 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター（～2024年3月）
 2022年5月 北里大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（兼任）、北里研究所病院 耳鼻咽喉科（兼任）
 2024年4月 北里大学病院 臨床研究推進センター 臨床企画推進部門

TS6-2. 頭頸部外科医を目指していたある生理学者の話

任 書晃（岐阜大学）

演者略歴

2000年3月 京都府立医科大学医学部医学科 卒業
 2000年4月 京都府立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 研修医
 2002年3月 松下記念病院 耳鼻咽喉科 医員
 2005年4月 京都府立医科大学大学院医学系研究科 博士課程 入学
 2006年4月 大阪大学大学院医学系研究科 分子細胞薬理学教室 特別研究派遣
 2009年3月 京都府立医科大学大学院医学系研究科 博士課程 卒業
 2009年4月 京都府立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 後期専攻医・病院助教
 2010年6月 米国立ロックフェラー大学 感覚器神経科学教室 博士研究員（日本学術振興会・海外特別研究員）
 2012年9月 新潟大学大学院歯学総合研究科 分子生理学分野 助教
 2015年4月 新潟大学大学院歯学総合研究科 分子生理学分野 准教授
 2016年10月 新潟大学大学院歯学総合研究科 分子生理学分野 研究教授
 2020年9月 現職



中川 尚志



藤岡 正人



任 書晃

耳科領域観察法の進歩と発展～より良い所見を得るために～

司会：角田 篤信（順天堂大学附属練馬病院）

TS7-1. 耳科領域の観察の歴史と展望～温故知新

角田 篤信（順天堂大学医学部附属練馬病院）

演者略歴

昭和62年 東京医科歯科大学医学部卒業，同耳鼻咽喉科入局
昭和63年 金沢医科大学医学部耳鼻咽喉科
平成2年 東京医科歯科大学医学部耳鼻咽喉科
平成11年 ロンドン大学 解剖発生学部・客員研究員（イギリス）
平成15年 東京医科歯科大学医学部頭頸部外科講師
平成16年 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科助教授
平成27年 順天堂大学耳鼻咽喉科助教授
平成28年 順天堂大学附属練馬病院耳鼻咽喉科助教授
令和元年 順天堂大学附属練馬病院耳鼻咽喉科教授

TS7-2. 最新の画像撮影技術を用いた耳科領域の観察・診断方法の進化

伊藤 卓（東京科学大学）

演者略歴

学歴

1993 千葉県立千葉高等学校卒業
2000 東京医科歯科大学医学部医学科卒業

職歴

2000年5月 東京医科歯科大学医学部付属病院耳鼻咽喉科研修医
2002年4月 青梅市立総合病院耳鼻咽喉科医員
2004年7月 総合病院取手協同病院医員
2005年4月 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科医員
2007年4月 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科助教
2010年10月 米国立衛生研究所 Molecular biology and Genetics section, 客員研究員
2013年8月 総合病院土浦協同病院科長
2016年10月 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科助教授
2017年4月 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科助教授（医学部内講師）
2022年4月 東京医科歯科大学耳鼻咽喉科講師

資格

医師免許，医学博士，日本耳鼻咽喉科専門医，補聴器相談医，耳鼻咽喉科専門研修指導医，めまい相談医，難病指定医，がん治療認定医，耳科手術指導医（暫定）

特技・得意分野

遺伝性難聴と分子生物学的解析 前庭水管拡大症にともなう難聴および平衡障害の研究 血管条の解剖，およびマウス内リンパ電位の測定 側頭骨削開トレーニング用人工骨モデルの開発・製造（特願2010-115447）ホログラムを利用した手術支援システム 新規ナビゲーションシステムの開発



角田 篤信



伊藤 卓

明日の臨床に活かす！～耳科学会からの最新情報～

10月5日(土) 9:10～9:40 第2会場

鼓室内ステロイド投与

司会：吉田 尚弘（自治医科大学附属さいたま医療センター）

保険収載を目指して 一突発性難聴と顔面神経麻痺に対する鼓室内ステロイド投与に関するレビュー

神崎 晶，他（国立病院機構東京医療センター）

演者略歴

氏名 神崎 晶（かんざき しょう）

所属 独立行政法人国立病院機構東京医療センター臨床研究センター（感覚器センター）聴覚・平衡覚研究部聴覚障害研究室 室長

1994年3月 慶應義塾大学医学部卒業

1994年4月 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科入局

静岡赤十字病院，清水市立病院など研修を行う。

1998年4月～平成14年3月 慶應義塾大学大学院（医学部・耳鼻咽喉科）

うち1999年4月～2001年3月 ミシガン大学クレスゲ聴覚研究所ラファエロ研究室に留学

2012年1月 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科専任講師

2019年4月 慶應アレルギーセンター副センター長（兼務）

2022年4月～ 現職

（国立病院機構東京医療センター感覚器センター聴覚平衡覚研究部聴覚障害研究室室長，産業保健室産業医）

日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医，日本耳科学会手術指導医，補聴器適合判定医，補聴器相談医，騒音難聴認定医，めまい相談医，顔面神経麻痺相談医，日本医師会産業医，アレルギー学会専門医，気管食道学会専門医，国土交通省航空身体検査証明委員，コレgiumメンバー



吉田 尚弘



神崎 晶

明日の臨床に活かす！～耳科学会からの最新情報～

10月5日(土) 9:40～10:40 第2会場

人工耳小骨と両耳聴評価法

司会：岩崎 聡 (国際医療福祉大学三田病院)

大石 直樹 (慶應義塾大学医学部)

チタン製アブミ骨手術用プロステーシスの現状と展望

新規医療委員会 人工骨小骨ワーキンググループ

伊藤 吏, 他 (山形大学)

演者略歴

伊藤 吏

学 歴:

1996年3月 山形大学医学部医学科卒業

1998年4月 山形大学大学院医学研究科医学専攻入学

2002年3月 同上修了

職 歴:

1996年5月 山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 医員

1996年10月 南陽市立総合病院

2002年4月 山形大学医学部附属病院 医員

2002年5月 山形大学医学部附属病院 助手

2007年4月 山形大学医学部附属病院 助教

2007年4月 チューリッヒ大学 耳鼻咽喉科留学 (～2008年3月)

2013年4月 山形市立病院済生館 耳鼻いんこう科 科長

2014年4月 山形大学医学部附属病院 助教

2015年4月 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師

2017年5月 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授

2024年2月 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授

現在に至る

チタン製鼓室形成術用プロステーシスの現状について

新規医療委員会 人工骨小骨ワーキンググループ

山田 啓之, 他 (愛媛大学)

演者略歴

山田 啓之

平成9年3月 愛媛大学卒業

平成17年4月 愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教

平成18年6月 市立宇和島病院 耳鼻いんこう科

平成20年8月 スタンフォード大学耳鼻咽喉科 留学

平成22年8月 愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教

平成26年4月 愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師

平成31年5月～現職 愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

方向感検査と雑音下語音聴取閾値検査による両耳聴評価—人工聴覚器成績評価検査ワーキング
グループ施設での両側人工聴覚器装用者における検討—

新規医療委員会 人工聴覚器成績評価検査ワーキンググループ

中西 啓, 他 (浜松医科大学)

演者略歴

中西 啓

2003年3月 浜松医科大学医学部医学科卒業

2003年4月 浜松医科大学耳鼻咽喉科

2010年3月 浜松医科大学大学院博士過程修了

2011年3月 浜松医科大学耳鼻咽喉科 助教

2012年1月 米国国立衛生研究所 (NIH) Postdoctoral Fellow

2015年8月 浜松医科大学耳鼻咽喉科 助教

2019年10月 浜松医科大学耳鼻咽喉科 病院講師

2023年1月 浜松医科大学耳鼻咽喉科 講師



岩崎 聡



大石 直樹



伊藤 吏



山田 啓之



中西 啓

特別企画

ランチオンセミナー 1

10月3日(木) 12:00～12:50 第1会場

(共催：マキチエ株式会社)

座長：村上 信五 (名古屋市立大学名誉教授)

LS1. 聴神経腫瘍のマネージメント

大石 直樹 (慶應義塾大学)



村上 信五



大石 直樹

ランチオンセミナー 2

10月3日(木) 12:00～12:50 第2会場

(共催：第一医科株式会社)

座長：岩崎 真一 (名古屋市立大学)

LS2. TEESの適応と基本手術手技

伊藤 吏 (山形大学)



岩崎 真一



伊藤 吏

ランチオンセミナー 3

10月3日(木) 12:00～12:50 第3会場

(共催：ノーベルファーマ株式会社)

座長：欠畑 誠治 (山形大学／太田総合病院)

LS3. 内視鏡下での鼓膜再生療法併用型鼓室形成術

金丸 眞一 (北野病院)



欠畑 誠治



金丸 眞一

ランチョンセミナー 4

10月3日(木) 12:00～12:50 第4会場

顕微鏡手術の基本と最前線

(共催：カールツァイスメディテック株式会社)

座長：羽藤 直人 (愛媛大学)

LS4-1. 最新ロボティクス手術用顕微鏡 KINEVO900 の使用経験 ～両手操作による確実・正確な手術を支える～

和田 忠彦 (関西電力病院)

LS4-2. 顕微鏡下耳科手術の基本手技

山本 裕 (東京慈恵会医科大学)



羽藤 直人



和田 忠彦



山本 裕

ランチョンセミナー 5

10月3日(木) 12:00～12:50 第5会場

(共催：カールストルツ・エンドスコーピー・ジャパン株式会社)

座長：角南貴司子 (大阪公立大学)

LS5. ENT手術の one-stop console – UNIDRIVE Select の紹介–

西池 季隆 (大阪ろうさい病院)



角南貴司子



西池 季隆

特別企画

ランチオンセミナー 6

10月4日(金) 12:40～13:30 第1会場

Optimizing Surgical Care and Delivering Lifetime of Hearing Performance – Nucleus® SmartNav システムのご紹介

(共催：株式会社日本コクレア)

座長：内藤 泰 (神戸市立医療センター中央市民病院)

LS6-1. The dexamethasone-eluting cochlear implant— a breakthrough in inner ear drug delivery

Prof. Stephen O’Leary (William Gibson Chair of Otolaryngology, University of Melbourne Senior Otolaryngologist, Royal Victorian Eye and Ear Hospital)

LS6-2. Nucleus® SmartNav システムの使用経験 ～これからの人工内耳手術手順～

榎尾 明憲 (東京大学)



内藤 泰



Stephen
O’Leary



榎尾 明憲

ランチオンセミナー 7

10月4日(金) 12:40～13:30 第2会場

(共催：日本メドトロニック株式会社)

座長：小森 学 (聖マリアンナ医科大学)

LS7. 若手のうちに習得しておきたい耳科手術手技：よい癖を身につけるための心がけ

小宗 徳孝 (九州大学病院)



小森 学



小宗 徳孝

ランチオンセミナー 8

10月4日(金) 12:40～13:30 第3会場

長い電極を用いた EAS の最適解をみいだすために

(共催：メドエルジャパン株式会社)

座長：工 穰 (信州大学)

LS8-1. 長いしなやかな電極を選択した低侵襲人工内耳・EAS の手術

本藏 陽平 (東北大学)

LS8-2. 長い電極を用いた EAS の評価とこれからの課題

山崎 博司 (京都大学医学部附属病院)



工 穰



本藏 陽平



山崎 博司

ランチオンセミナー 9

10月4日(金) 12:40～13:30 第4会場

(共催：リオン株式会社)

座長：高野 賢一 (札幌医科大学)

LS9. 雑音下聴取能検査の種類とその使い分け

西山 崇経 (慶應義塾大学)



高野 賢一



西山 崇経

特別企画

ランチオンセミナー 10

10月4日(金) 12:40～13:30 第5会場

IL-4/13 が織りなす Type2 炎症性疾患を紐解く

(共催：サノフィ株式会社／リジェネロン・ジャパン株式会社)

座長：山田武千代 (秋田大学)

LS10-1. 上気道の好酸球性炎症に対する新規治療— Up-to-date

飯野ゆき子 (東京北医療センター)

LS10-2. 好酸球性中耳炎と type2 炎症の制御 —慢性鼻副鼻腔炎からのフィードバック—

石野 岳志 (広島大学病院)



山田武千代



飯野ゆき子



石野 岳志

ランチオンセミナー 11

10月5日(土) 12:50～13:40 第1会場

(共催：セオリア ファーマ株式会社)

座長：山本 裕 (東京慈恵会医科大学)

LS11. 耳科領域における抗菌薬の適正使用

保富 宗城 (和歌山県立医科大学)



山本 裕



保富 宗城